

マテリアリティ

# ステークホルダーとの信頼関係の構築

マテリアリティ:

ステークホルダーとの信頼関係の構築



リスク

・信頼関係を毀損することにより社会的な存在意義を失う可能性

機会

・社会的な責任を果たすことによる社会からの信頼の獲得

課題認識

企業に求められる社会的責任は徐々にその範囲が拡大し、取り組むべき内容も大きく変化しています。また、「なくてはならない」生命保険会社を実現するためには、ステークホルダーの皆さまや社会全体から信頼されることにより一層重要になります。

目指す姿

ステークホルダーからの期待に応え、ステークホルダーに信頼・支持される会社を目指す

取組方針・内容

- 1 金融リテラシー教育の推進
- 2 地球環境の保護
- 3 社会貢献活動の推進、地方自治体との連携

創業100周年とCSR経営方針

2007年に住友生命は創業100周年を迎えました。生損保子会社の相互参入、銀行窓販の全面解禁など、生命保険業界を取り巻く環境は大きく変化し、ステークホルダーから見た「理想の会社」も大きく変化してきました。

100周年を迎え、経営理念である「経営の要旨」を時代を超えて受け継ぐべき住友生命CSRの原点と位置づけ、そこに流れる思想を反映し、目指す理想の会社像を「CSR経営方針」として制定しました。住友生命のCSRの根底には住友の伝統精神があり、現在も「信用・確実・公利公益(=社会公共の利益)」を旨とする精神が脈々と受け継がれています。

住友生命は、経営方針の一つである「CSR経営方針」において、お客さま・ビジネスパートナー・従業員・社会・地球環境という住友生命のステークホルダーに信頼・支持される会社となるための方針を定めています。この方針のもと、保険事業の健全な運営とその発展を通じて、ステークホルダーからの期待に応え、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

【住友生命のCSRの枠組み】



2020年度取組状況(アプローチ)

社外における寄付講座の実施、あらゆる世代に対する生命保険や生活設計に関する理解の促進

生命保険への理解や信頼を高めるための「講師派遣」や、生命保険の仕事への理解を深めていただくことを目的とした「体感プログラム」を実施しています。従来から九州大学・立命館大学へ寄付講座を提供している(2020年度はオンラインで実施)ほか、顧客企業向けのライフプランセミナーやセカンドライフセミナーを数多く実施しました。



講義風景

事業活動における省エネ・省資源、気候変動問題への取組みや環境保護活動の推進

サンゴ礁保全プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2008年1月から「サンゴ礁保全プロジェクト」に取り組む</li> <li>・沖縄県石垣島において、(公財)世界自然保護基金ジャパンを支援</li> </ul>
環境保全プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員によるボランティア活動</li> <li>・自然環境保護シンボルソングのCD制作支援</li> </ul>
海洋プラスチック問題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本社・東京本社においてレジ袋・プラスチックストローの利用を廃止</li> <li>・マイボトル・マイバッグ利用の推進</li> <li>・環境省「Plastics Smart」に賛同</li> </ul>

地域・社会への貢献の推進

住友生命では、全社をあげて「スマセイ・ヒューマニー活動」を展開しています。2020年度は、「時間・場所に捉われない新しい活動」として、家庭で余っている食べ物を収集し、1人親世帯や高齢者等の食事に不自由している方に寄付する「フードドライブ」や、自宅等で使い捨て布や雑巾等を作成し、病気の子どもと家族のための滞在施設へ寄付する「おうちヒューマニー」を実施しました。

各自治体との連携の推進(自治体連携の状況)

2020年度は、東京、大阪をはじめ、包括連携協定締結済\*の自治体と多分野で連携事業を実施。今般のコロナ禍では感染症対策の周知協力も行いました。複数の自治体とは感染症対策での連携協定を締結。今後も全国の都道府県市との連携を進めてまいります。

\*包括連携協定締結済の都府県:山形県、東京都、京都府、三重県、大阪府、岡山県、愛媛県

スマセイ・ヒューマニー活動(職員ボランティア)

スマセイ・ヒューマニー活動は、「人間味あふれ(ヒューマン)、地域社会と調和を図れる(ハーモニー)企業でありたい」そんな想いから「ヒューマニー(ヒューマン&ハーモニー)」を合言葉に1992年からスタートした職員参加型のボランティア活動です。SDGs達成に貢献するため、清掃活動や海外の子どもたちに絵本を届ける活動など、各地で多岐にわたる活動を展開しています。



健康増進・スポーツ分野での取組み

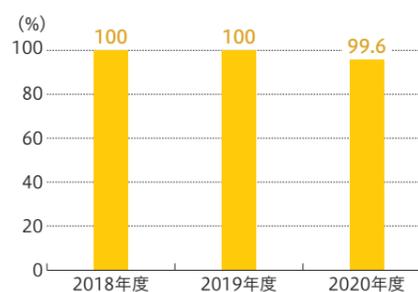
職員のスポーツ活動を推進する取組みや、スポーツ分野における社会貢献活動が認められ、令和元年度から東京都の「東京都スポーツ推進企業」、スポーツ庁の「スポーツエールカンパニー」に連続で認定されています。



2020年度における主な成果

全社をあげて展開している「スマセイ・ヒューマニー活動」は、2020年度はコロナ禍中においても「時間・場所に捉われない新しい活動」を導入し、99.6%の参加率となりました。また、全国の自治体(都道府県)との連携は43件となりました。

【スマセイ・ヒューマニー活動 所属参加率】



自治体(都道府県)との連携件数

43件

顧客企業向けライフプランセミナー、セカンドライフセミナー開催者数

125社

(受講者数 約7,500人)

『なくてはならない』生命保険会社へ

TOPICS »

ステークホルダーとの信頼関係の構築

TOPICS ① 住友生命の社会貢献活動への取り組み

住友生命は、社会に「なくてはならない」生命保険会社を目指し、事業活動を通じてSDGs達成に向けた取り組みを進めることで、社会に貢献していくため、「健康増進」「子育て支援」「地球環境の保護」を重点分野として取り組んでいます。また、これらの活動のベースとして職員ボランティア「スマセイ・ヒューマニー活動」を実施し、職員の社会貢献意識の醸成を図り、社会貢献活動を一層推進してまいります。

■活動の重点分野

健康増進	子育て支援	地球環境の保護
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマセイ“Vitality Action”</li> <li>・がん患者団体、認知症団体等への支援</li> <li>・さわやか福祉財団への助成 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来を強くする子育てプロジェクト</li> <li>・スマセイアフタースクールプロジェクト</li> <li>・子育て中核団体への助成</li> <li>・子育て啓発関連 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サンゴ礁保全プロジェクト (WWFジャパン支援)</li> <li>・売店でのレジ袋廃止 (マイバッグ持参推奨)</li> <li>・社内食堂等でのプラスチックストロー削減</li> </ul>

■職員によるボランティア活動(重点分野を中心に活動)

**スマセイ・ヒューマニー活動**

- ・2020年度より「時間・場所」に捉われない新しい活動をスタート

TOPICS ② スマセイ“Vitality Action”

2017年より、健康増進をテーマとした社会貢献事業「スマセイ“Vitality Action”」を継続して行っており、自治体や財団、アスリート等の皆さまからご協力を得ながら、健康増進という社会課題に取り組んでいます。2020年度はトップアスリートを講師に招き、オンラインを活用し、おうち等で親子で一緒に運動できるイベントを開催しました。これまで、全国111か所(2021年3月末時点)で開催し、約5,800組を超える親子にご参加いただいています。

TOPICS ③ 医療への取り組み

ピンクリボン運動を応援

乳がんの早期発見、適切な治療の大切さを伝えていくことも、生命保険会社としての重要な社会的責任であると考え、2007年度よりピンクリボン運動を応援、日本対がん協会「ほほえみ基金」に寄付を行っています。また、乳がんの理解・関心を高めるために乳がん検診啓発チラシの配布を行っています。



営承 P762

地域医療貢献奨励賞

一般財団法人 住友生命福祉文化財団

医師の地域的偏在により、予防医学面でも十分な医療サービスが行き届かない僻地等において、永年情熱を傾け、弛まぬ努力を続けながら地域医療の確保と向上、住民の健康福祉の増進に貢献している医師に「地域医療貢献奨励賞」を授与し顕彰しています。

がん啓発冊子の配布

がんについての正しい情報をご提供するため、国立がん研究センター監修による啓発冊子「知っておきたいがんのこと」を発刊しております。がんの基礎知識や治療内容・費用、相談窓口、患者の声など幅広い情報を掲載しており、住友生命の支社・支部のネットワークを活かし、スマセイ ライフデザイナーを通じて、日本全国の皆さまに配布しています。



「闘わないがん治療」

-21世紀のがん治療：粒子線治療の情報提供-

住友生命では、粒子線治療の権威である医学博士の菱川良夫先生(兵庫県立粒子線医療センター名誉院長・メディポリス国際陽子線治療センター名誉センター長)に講演等の協力を得て、「闘わないがん治療」というDVDを作成の上、お客さまに配布し、情報提供を行ってまいりました。



TOPICS ④ スマセイアフタースクールプロジェクト

小学生の放課後の居場所である全国の学童保育等の支援事業として2014年より開始し、「いのち」「健康」「未来」をテーマに全17種類のプログラムを訪問・オンラインによりお届けすることで、子どもたちに学び・成長の機会を提供しています。



プログラム事例紹介

**未来**  
地球にやさしい  
未来の買いものの  
しかたを学ぼう

©Cat Holloway /WWF

実際にお魚の商品ラベルを読み解いて、環境にやさしい未来のための買いものの仕方など、その日から実践できることを楽しく学びます。

**いのち**  
いのちがやく  
サイエンス

子どもたちの「!」と「?」を引き出すサイエンスプログラム。めくるめく楽しい科学実験に子どもたちのいのちが輝きます。

TOPICS ⑤ 地方自治体との連携を通じた課題解決

【横浜市との連携】

SDGs未来都市・横浜の実現に向けた「横濱ゲートタワープロジェクト」

住友生命は、鹿島建設株式会社、三井住友海上火災保険株式会社とともに、みなとみらい21 中央地区58街区で進める「横濱ゲートタワープロジェクト」において、横浜市と連携協定を締結し、横浜市の取組みを協働で推進します。今般、SDGs 未来都市実現に向け、住友生命、鹿島建設、三井住友海上と横浜市で、より一層の連携を図るとともに、イノベーション創出につながる空間整備やSDGs達成に向けた活動を展開していくこととなりました。



横濱ゲートタワー完成イメージ

【包括連携協定締結済みの自治体との連携事業】

住友生命は、東京都、大阪府をはじめ複数の自治体と包括連携協定を締結しており、今後も各自治体との連携協定を活用した動きを行ってまいります。

連携事業の一例

**東京都 ワイドコロバ協定締結後の連携事業「ながら見守り」「街の安全みまもり」**  
日常業務をしながら子供や高齢者等の弱者を見守る「ながら見守り」活動に参加しています。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて地域の安全・安心を高める「街の安全みまもり」活動も実施しました。東京都とは今後も様々な連携事業を実施していきます。



**大阪府 「大阪スマートシティパートナーズフォーラム」への参画**

2025大阪・関西万博へ向けて、大阪府、企業、シビックテック、府内市町村、大学等が連携して「大阪モデル」のスマートシティ実現に向けた取組みを推進することを目的として設立された「大阪スマートシティパートナーズフォーラム」に住友生命も参画しています。シニア層を対象とした府内での実証事業も予定しています。



【感染症対策に関する周知活動】

住友生命は、今般のコロナ渦中で複数自治体と感染症対策に関する周知活動を実施し、複数団体と感染症対策での連携に関する協定を締結しました。

感染症対策の事例

**東京都・大阪府 東京都内・大阪府内の各支社での感染症対策に関する協力**  
感染症予防の啓発とともに、DM等を活用して「感染症拡大防止徹底宣言ステッカー(東京都)」、「休業要請外支援金(大阪府)」の案内等の活動を行いました。

